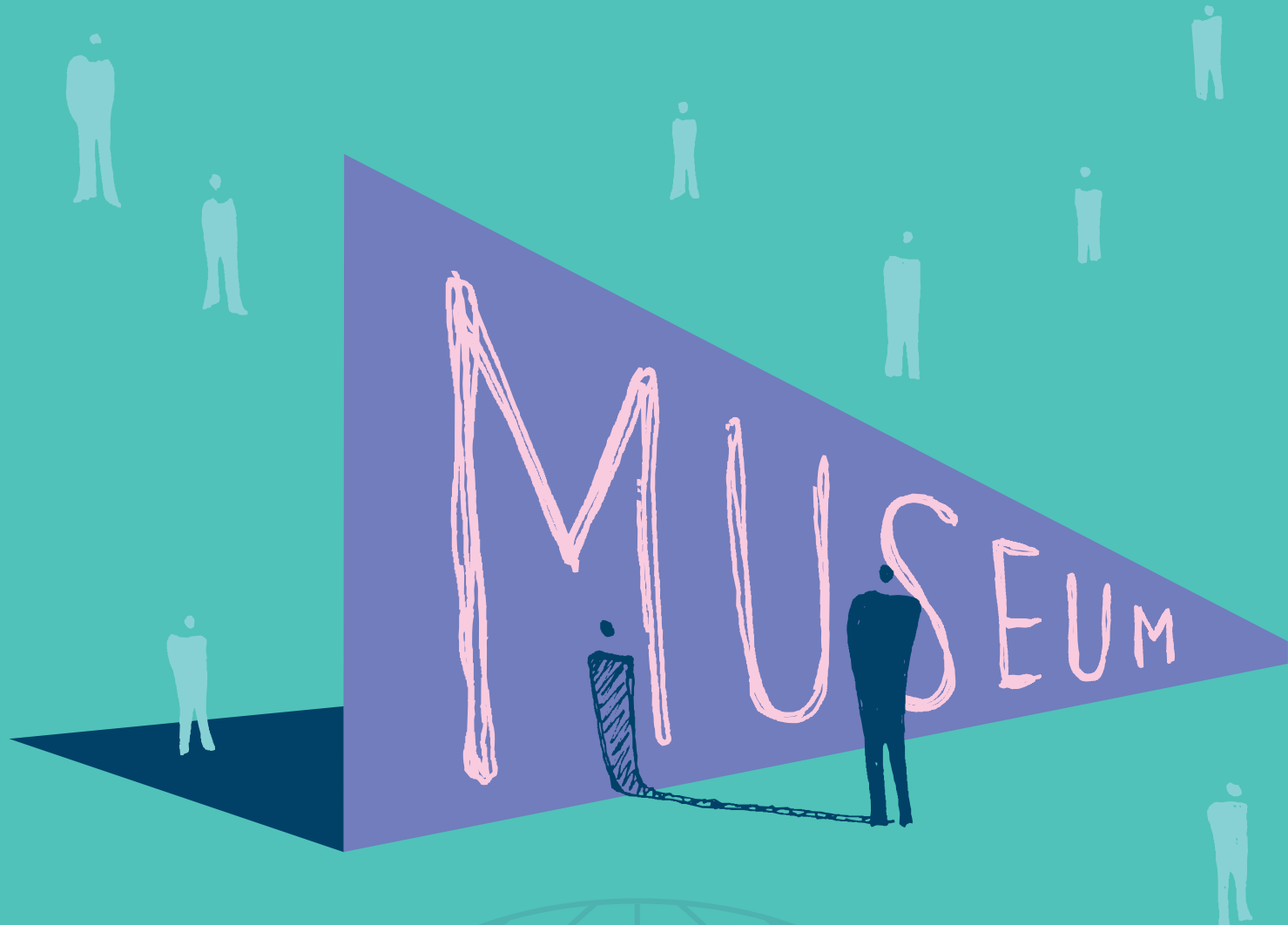




2015 ユネスコ 勧告を読み解く

— 今後の我が国の博物館像を考えるために —

福岡会場

日 時	平成29年9月17日(日) 13時→17時
会 場	九州産業大学グローバルプラザ (福岡市東区松香台 2-3-1)

京都会場

日 時	平成29年9月18日(月) 13時→17時
会 場	京都国立博物館平成知新館大会議室 (京都市東山区茶屋町 527)

主 催

ICOM 京都大会組織委員会、ICOM 日本委員会、公益財団法人日本博物館協会、京都国立博物館、九州産業大学、
ふくおか博物館人材育成事業実行委員会（九州産業大学美術館、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、
田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館）

共 催

日本ミュージアム・マネジメント学会、全日本博物館学会、日本展示学会

後 援

全国大学博物館学講座協議会

2015年11月20日、ユネスコの第38回総会で“Recommendation on the Protection and Promotion of Museums and Collections, their Diversity and their Role in Society (ミュージアムとコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告)”が採択されました。同勧告は、加盟国の政策立案担当者に向けたもので、現代における博物館の社会的役割等を示した国際的なスタンダードとなるものです。ユネスコの博物館に関する勧告としては、1960年12月に採択された“Recommendation concerning the Most Effective Means of Rendering Museums Accessible to Everyone (博物館をあらゆる人に開放する最も有効な方法に関する勧告)”以来55年ぶりで、2019年に初めて我が国で開催されるICOM京都大会でも議論されることになります。

今回のワークショップでは、勧告策定の中心的役割を果たしたユネスコ文化セクター・ミュージアムプログラム主任の林菜央氏を招へいし、策定までの経緯について解説していただくとともに、参加する博物館関係者を交えて、勧告を踏まえた今後の我が国の博物館像を考えます。

2015 ユネスコ 勧告を読み解く

— 今後の我が国の博物館像を考えるために —

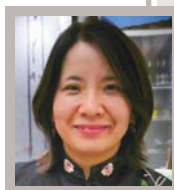
プログラム

福岡会場 9.17 Sun 13:00 >>>> 17:00

- 12:30 ● 受付
- 13:00 ● 開会、開催趣旨説明
- 13:15 ● 自己紹介
- 13:15 ~ 14:00 ● グループワーク「ユネスコ博物館勧告を読んで気になること」
- 14:00 ● 「2015年ユネスコ博物館勧告策定までの経緯と今回の勧告の注目点」
林 菜央氏 (ユネスコ文化セクター・ミュージアムプログラム主任)
- 14:30 ● コーヒーブレイク (参加者名刺交換)
- 15:00 ● 演習1「林さんに何でも質問してみよう」
- 15:40 ● 演習2「2015年ユネスコ博物館勧告を踏まえ、今後の博物館像を考える」
対論! 現職学芸員の本音×学芸員を目指す大学生の期待
モデレーター: 緒方 泉氏 (九州産業大学美術館教授)
- 16:30 ● ふりかえり
- 17:00 ● 閉会

京都会場 9.18 Mon 13:00 >>>> 17:00

- 12:30 ● 受付
- 13:00 ● 開会、開催趣旨説明
- 13:15 ● 「1960年ユネスコ博物館勧告と日本国内の反応」
井上 由佳氏 (文教大学国際学部准教授)
- 13:45 ● 「2015年ユネスコ博物館勧告策定までの経緯、その後の各国での動き」
林 菜央氏 (ユネスコ文化セクター・ミュージアムプログラム主任)
- 14:40 ● ユネスコの条約・勧告・宣言等
- 14:50 ● 休憩
- 15:00 ● ワークショップ進行: 林 浩二・染川 香澄
- 15:00 ~ 16:00 ● 活動1「博物館でやっていること、やりたいこと」
- 16:00 ● 活動2「2015年ユネスコ博物館勧告をどう生かすか」
- 16:30 ● ふりかえり
- 17:00 ● 閉会



林 菜央 (Nao HAYASHI) ユネスコ文化セクター・ミュージアムプログラム主任

上智大学、東京大学大学院、ソルボンヌ大学、パリ高等師範学校で古代ローマ史(帝政期属州における東方起源宗教の伝播)を、ロンドン大学アフリカ東方学院で持続的開発論を学ぶ。

1998年より在フランス日本大使館の文化アタッシュとして勤務後、2002年以降ユネスコ文化局文化遺産部、世界遺産センター、カンボジア事務所を経て2007年よりミュージアム関連業務担当となり、2014年より主任となる。開発途上国での

世界遺産及びミュージアム支援事業に多数関わる他、2015年にユネスコ総会で採択されたミュージアムに関する国際勧告の起草から最終的な採択までのプロセスを一貫して担当。

現在は勧告の執行を奨励するため2016年に設立されたユネスコハイレベルミュージアムフォーラムのコミッショナーを務めるほか、加盟国に対する幅広い政策支援を行っている。

参加対象	博物館関係者、芸術文化・社会教育行政関係者、大学教員、学生 (1960年、2015年のユネスコ博物館勧告を必ず読んで参加すること) ユネスコ博物館勧告 検索	人数	福岡会場、京都会場ともに50名 (いずれも事前申し込み・先着順)
申し込み方法	*メールにてお申し込みください* *締切は各会場開催日3日前とします。 ● 件 名 >>> ユネスコワークショップ (福岡または京都と希望会場を記入) ● 内 容 >>> 氏名(ふりがな)、所属、連絡先メールアドレス、共催学会会員の有無 1960年、2015年のユネスコ博物館勧告を読んで気になること、林菜央さんに聞きたいこと		
連絡先	〈福岡会場〉 ふくおか博物館人材育成事業実行委員会事務局 事務局長 緒方 泉 〒813-8503 福岡市東区松香台 2-3-1 九州産業大学美術館内 TEL: 092-673-5160 Email: museum03@ip.kyusan-u.ac.jp	〈京都会場〉 ICOM 京都大会準備室 主任 渡邊 淳子 〒605-0931 京都府京都市東山区茶屋町527 京都国立博物館内 TEL: 075-561-2127 Email: office@icomkyoto2019.kyoto	